2012年日本動物学会九州支部委員会議事録

日時:2012年5月19日

場所:佐賀大学農学部

出席者(敬称略、順不同):飯田弘(支部長・評議員・福岡県支部委員)、小泉修(評議員・福岡県支部委員)、市川敏夫(福岡県支部委員)、横張文男(福岡県支部委員)、早川洋一(佐賀県支部委員)、高宗和史(熊本県支部委員)、清原貞夫(鹿児島県支部委員)、山脇兆史(会計委員)、岡田二郎(広報委員)、金子たかね(庶務幹事、福岡県支部委員)

委任状提出者(敬称略、順不同): 吉国通庸(評議員・福岡県支部委員)、佐藤矩行(沖縄県支部委員)

報告

1) 理事会報告

飯田支部長より、公益化に向けての選挙について説明がされた。先日行われた理事(2 期上限)選挙では、九州支部から飯田弘および高宗和史の2名が選出され、全国で選ばれた合計18名の理事から成る理事会が、動物学会の運営において重要視されること、現在、理事の互選による会長候補者3名から1名を選ぶ会長選挙が行われていること、8月20日までに選挙により九州支部代表委員(2 期上限)1名を選出しなければならないこと、各県の支部委員も選出すること、庶務幹事および会計も決定する必要があることが報告された。

また、飯田支部長より、公益化に向けて日本動物学会の定款が6月9日の理事会議で決定されること、それに伴い九州支部規約も変更する必要があり、九州支部規約案がまとまり次第、委員へ連絡することが報告された。

2) 庶務報告

金子庶務幹事より、2011年の事業報告および会員数と正会員動向について報告がなされた。

議題

1) 2012年の活動計画について

金子庶務幹事より 2012 年事業計画案の説明があり、高宗支部委員から「第2回九州地区動物学談話会」が 8月25日、26日に熊本大学合津臨海実験所で行われる予定であること、また日程は未定だが今年も熊本大学にて公開実習を行う予定であることが報告された。

また、金子庶務幹事より、合同大会における学生の発表者に1人当たり2000円の研究発表奨励費を支給すること、および第2回九州地区動物学談話会でも学生の発表者に会費に合わせた研究発表奨励費を支給することが説明され、承認された。

2) 公益化に向けての検討事項

飯田支部長より、本部から検討を求められている3つの審議事項(「支部会計の口座について」「平成24年 公益社団日本動物学会支部予算について」「名誉会員の推薦について」)についての説明がされた。

公益化後、予算案の審議・決定は理事会が行うため、支部委員会および支部総会での承認は不要になること、また7月から6月までの1年の決算になると5月に行われる支部委員会や支部総会では中間報告しかできないため、これらの会で中間報告をし、決算後に会員に連絡を行うことが話し合われた。

また、九州支部としては本部の案を承認するが、いくつかの不明事項は本部に確認をとり、九州支部委員に連絡することが確認された。

3) 2011年決算と2012年予算案について

山脇会計幹事より 2011 年の決算について説明があり、岡田広報幹事から会計監査を行い問題なく執行されていることを確認した、との報告があり、承認された。引き続き、山脇会計幹事より 2012 年予算について説明があった。公益化に伴い、予算は 1 月から 12 月までの期間ではなくなるため、本委員会では承認を求めず、報告のみを行った。

4)総会の式次第について

金子庶務幹事より説明があり、承認された。

5) 今後の三学会合同大会について

金子庶務幹事より、三学会合同大会の福岡開催を3年に1回から5年に1回にする案に基づく合同大会開催地の予定案が紹介され、各学会の総会でこの案が承認されれば決定事項となることが説明され、動物学会支部委員会ではこの案が承認された。

6) その他

金子庶務幹事より、三学会合同大会の内容について説明があり、学会間の交流を盛んにするため、またポスター賞を設けることが可能で学会の活性化をはかることができるために、三学会合同大会の一部を三学会合同でのポスター発表にする案が紹介された。本年の佐賀における三学会合同大会では、既にこの案が採用されており、今後、この案を採用するかは開催県の判断にゆだねられるが、この案を取り入れて三学会合同大会を行うことを推奨することが説明された(既に会員に連絡済み)。この件に関して、反対意見はなく、認められた。

金子庶務幹事より、三学会合同例会の実施方法について説明があり、会員が少ない県では毎年、三学会合同例会を行うことは困難であり、九州支部の規約でも例会は随時に開催となっていることから、県の都合によっては合同例会を必ずしも毎年行わなくても良い、という案があることについて、説明があった。佐賀県の早川支部委員から、今年の佐賀県では会員数が少ないうえに、三学会合同大会が行われ、これに加えて三学会合同例会を行うのは困難であるとの説明があり、委員から、佐賀県における今年の三学会合同例会の開催は免除しても良いと思うが、学会の活性化のためにも、例会の内容を工夫するなどして、できるだけ1年に1回は三学会合同例会を開催するように努力するべき、という意見が出され、この方針で三学会合同例会の開催を進めることが承認された。

飯田支部長より、2015年頃に九州で全国大会が行われる可能性があることが報告された。

(文責:金子)